



建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.2)

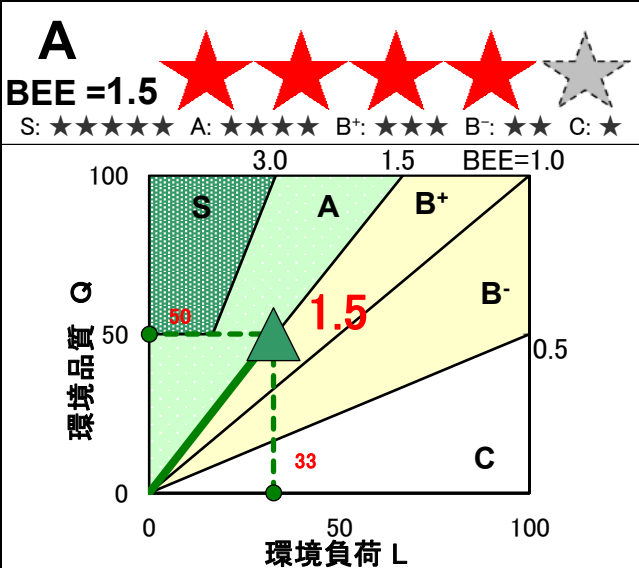
1-1 建物概要

建物名称	(仮称)大阪市中央区大手前一丁目プロジェクト 新築工事		
建設地	中央区大手前1丁目		
建築用途	共同住宅		
建築主	大和ハウス工業(株)		
設計者	(株)長谷エコーボレーション関西・東海エンジニアリング事業部 一級建築設計事務所		
敷地面積	2,185.89	m ²	
建築面積	1,025.91	m ²	
延床面積	31,465.13	m ²	
構造/階数	RC造	/	地上39階
完了年(予定)	2030年1月		

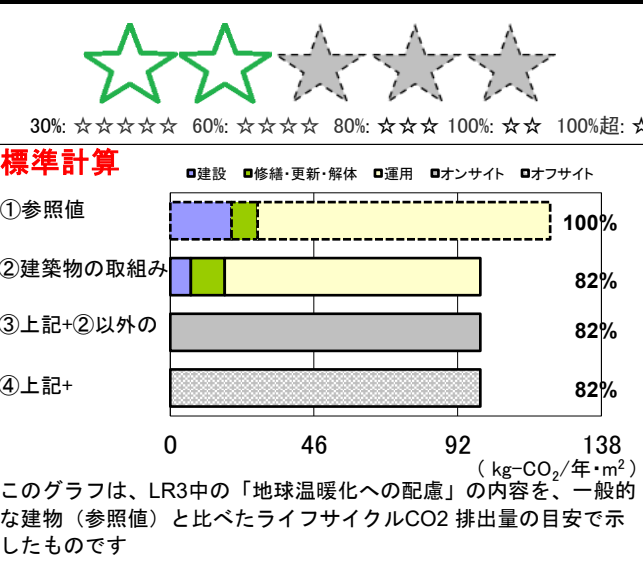
1-2 外観



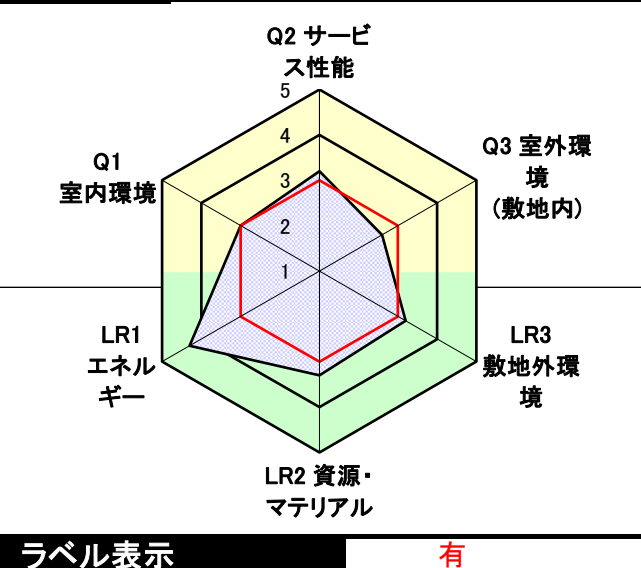
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



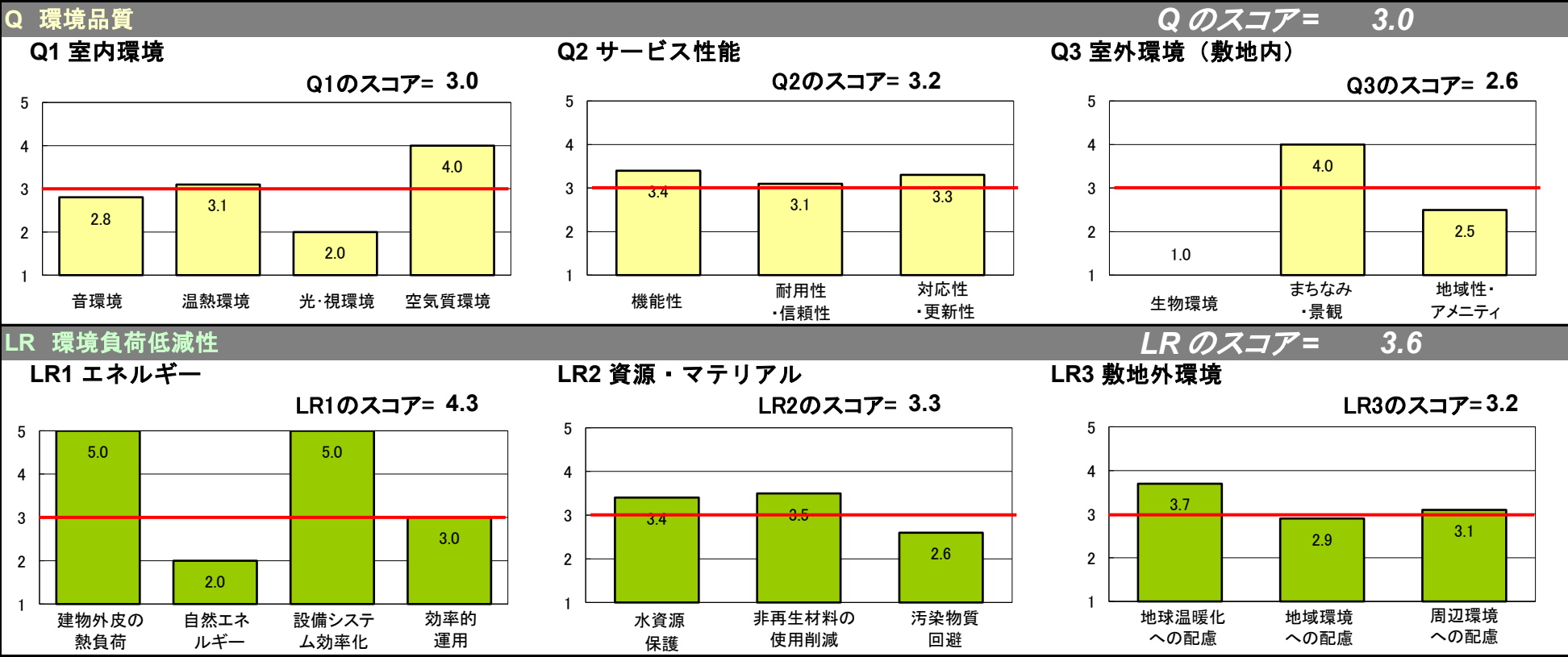
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合 断熱性を高め、空気環境に配慮する等、室内環境の向上を図っている。 また、公開空地の植樹帯は地域性のある樹種を選定し、大阪城公園の緑と景観のつながりをもたせつつ、建物外壁面はガラスカーテンウォールとすることで、圧迫感の軽減を図った。		その他
Q1 室内環境 内装の建築材料を全面的にF☆☆☆☆とし、さらにホルムアルデヒド以外のVOCも発散量の少ない建材を使用する等、室内の空気環境に配慮した。	Q2 サービス性能 建物全体の階高や住居内の天井高さにゆとりをもたせ、更新性・機能性に配慮した設計とした。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地境界部に植栽や広場を設けることで、良好な景観を形成するよう努めた。
LR1 エネルギー Low-Eガラスの採用や適切な断熱材により断熱性を高め、建物外皮の熱負荷抑制を図っている。	LR2 資源・マテリアル リサイクル材、エコマーク商品を積極的に採用し、資源の使用量削減に努めた。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO2排出率を抑えるようにし、地球温暖化に配慮した。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.5

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	3.7
配慮事項	また歩行空間や広場を設けることで居住者及び近隣住民の地域性・アメニティにも配慮しつつ、緑豊かな空間になるようにした。	

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	1.0
Q3 / 3 /3.2/	敷地内温熱環境の向上	2.0
LR3/ 2 /2.2/	温熱環境悪化の改善	3.0
配慮事項	敷地境界部に植栽や広場を設けることで、地域活動やアメニティに配慮するとともに良好な景観を形成している。	

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	5.0
配慮事項	Low-Eガラスの採用や適切な断熱材により断熱性を高め、建物外皮の熱負荷抑制を図っている。	

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	5.0
配慮事項	ライフサイクルCO2排出率を抑えるようにし、地球温暖化に配慮した。	

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)
(基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

外皮性能	住宅部分(品確法等級)	非住宅部分[BEI][BEIm]
	等級4を超える(相当)	-
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEIm]	住宅部分[BEI]
	0.82	0.82
		非住宅部分[BEI][BEIm]
		-